

【樹木・草花の部屋】

カンザキアヤメ (アヤメ科/アヤメ属 *Iris unguicularis*)

和名;カンザキアヤメ(寒咲菖蒲) **別名**;カンアヤメ (寒菖蒲) (寒菖蒲) **英名**;
キジカクシ目 宿根草

原産地;地中海の東部沿岸から西アジア原産 **花言葉**;

花の色;青紫、白



← 写真-1 カンザキアヤメ

撮影日: 2013年3月1日

撮影場所: 大和郡山市 M 邸にて

撮影者: M さん

何時頃移植したのか定かではありませんが、我が家の庭先に、ヒッソリとカンザキアヤメが咲いていました。たしか、2月上旬から咲き出した記憶がありますが、今日、やっと、カメラに収めました。冬場の寒～イ季節に咲く、数少ない仲間です。

アヤメと同じように乾燥した土地でも生育をする事から、近年は庭での栽培が増えているようです。

写真-2 カンザキアヤメの花

⇒

撮影日: 2013年3月1日

撮影場所: 大和郡山市 M 邸にて

撮影者: M さん

花の開花は11月頃～3月頃まで見られ白花種や淡い桃色のものもあるそうです。開花位置は地上から20～30cmの高さが多く葉は花より高い位置まで伸びています。



【樹木・草花の部屋】

<ちょっと一言 クイズ>

Q 「いずれがあやめかきつばた」という言葉があるように、
区別の難しいアヤメ、ハナショウブ、カキツバタの違いは・・・？

A. ごく簡単に言えば、花びらの基のところに、ハナショウブは黄色、カキツバタは白、アヤメは網目状の模様が、それぞれあることで区別できるようです。

ハナショウブヤカキツバタは湿原や水分の多い場所が生育場所。

サトイモ科のショウブは、アヤメ科ではありませんが、その葉姿がアヤメに似ていることや、古い時代「あやめ」や「あやめ草」と呼ばれていたこともあり、昔からしばしば混同されてきたようです。この植物は葉や根茎に芳香があり、端午の節句の「菖蒲湯」や、「菖蒲茸き」、「菖蒲酒」など、古くから邪気をはらう植物として使われ、こんにちでも「菖蒲湯」の風習は残っています。